

森林のはたらきを維持するには適切な森林整備が必要です

森林が持つ多くのはたらきを持続的に發揮させるためには、植栽後に、下刈り、除伐、間伐などの森林整備を適切に行い、健全な森林をつくっていく必要があります。

下刈り

植栽した苗木の生育を妨げる雑草木を刈り払う作業

除伐

育てる木の成長を妨げる他の樹木を刈り払う作業

間伐

樹木が成長し過密になった森林で、一部の樹木を伐採する(間引く)作業

間伐の効果



間伐が長く実施されないと、林内が暗くなり、地面に生えている草木が消え、表土流出の危険性が高まります



樹木の混み具合にあわせて、育成する樹木の一部を伐採(間引き)します
この作業が間伐です



適切に間伐を行うことにより、林内に光が入り、残った樹木の成長が促され、樹木の下に草木も育ち、森林が持つ様々な機能が維持されます

北海道の森林

北海道の森林面積は554万ha(全土地面積の71%)で、全国の森林の22%を占めています。

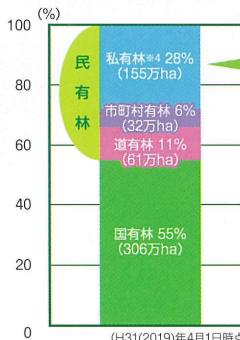
このうち国有林が55%と過半数を占め、次に多いのが私有林^(※2)で全体の28%を占めています。

私有林のうち約35%が人工林^(※3)でカラマツ類とトドマツの2種類で80%を占めています。

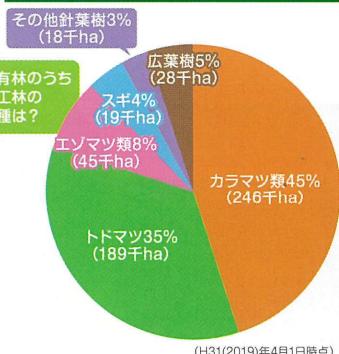
※2 私有林とは、個人や会社、社寺など法人で所有する森林

※3 人工林とは、人の手で植え育てられた森林(一方、主として天然の力によって造成された森林は天然林と言います)

所有形態別の森林面積割合



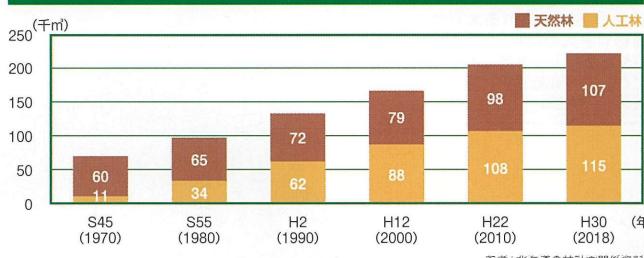
私有林人工林の樹種別面積割合



※4 市町村や道以外の公共団体が所有する森林を含む

戦後に植えられた木が成長し私有林の蓄積(木の幹の体積)が増加しており、木材としての利用が期待されています。

私有林の林種別蓄積の推移(各年4月1日時点)



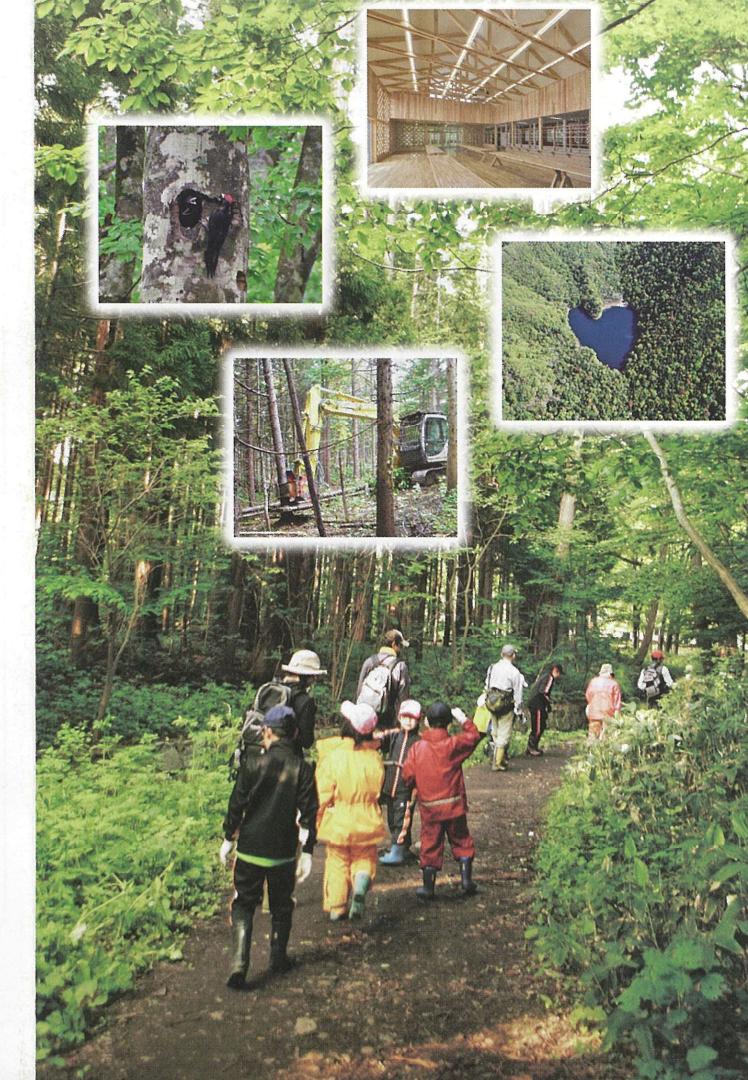
参考: 北海道森林計画関係資料



北海道

～みんなでつくる未来の森林～

森林環境税



森林環境税が創設されました

私たちが、これからも森林から多くの恵みをもらい、住みやすい環境を維持していくため、国民一人一人が、森林の整備に必要な費用を等しく分かち合い、森林を支える仕組みとして、『森林環境税』が創設されました。

国民の皆さんに負担いただいた税^(※1)は、市町村や都道府県に『森林環境譲与税』として配分され、これまで手入れができていなかった森林の整備などに活用されます。

※1 森林環境税の徴収は令和6年度からを予定しています



森林環境税の詳細は、以下の
道のホームページをご覧ください。

[http://www.pref.hokkaido.lg.jp/
sr/srk/shinrinkankyouzeitou/setumei.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/srk/shinrinkankyouzeitou/setumei.htm)



北海道 森林環境税

検索

森林には多くのはたらきがあります

森林は、国土や水源を守り育てる機能や、私たちの生活環境を守る機能、たくさんの生き物を育てる機能、人と自然とのふれあいの場を創出する機能、木材を供給し私たちの暮らしを支える機能など、私たちが充実した生活を送っていく上で欠かすことが出来ない多くのはたらきを持っています。

